

パーソナリティ心理学

責任者・コーディネーター	人間科学科心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科心理学・行動科学分野、教養教育センター		
対象学年	1	区分/単位数	講義/1単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

「パーソナリティ personality」は、日本語では「人格」と訳され、その人の“人となり”のことを意味する。心理学において「パーソナリティ」は重要な概念のひとつで、臨床心理学、発達心理学、社会心理学、そして精神医学においても中心的な概念として機能している。本科目では、心理学におけるパーソナリティの概念を整理し、パーソナリティ理解のために有用な心理学の諸理論を学ぶ。そして、個々人の個性を理解し、「自分らしさ」「その人らしさ」を尊重できる態度を修得する。

・教育成果(アウトカム)

<ol style="list-style-type: none"> 1. パーソナリティ理解のための諸理論を説明できる。 2. パーソナリティ理解を歪める心理的要因について、説明できる。 3. パーソナリティの発達について、精神分析の理論やライフサイクル論をもとに、その形成過程を理解し、説明することができる。 4. 心理検査技法の特徴を学び、パーソナリティのアセスメントについての概要を説明できる。 5. 上記により人間のこころと行動の多様性についての理解を深め、パーソナリティの個人差と個性を尊重する態度を会得できる。 	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】	
本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

・到達目標(SBO)

<ol style="list-style-type: none"> 1. 類型論と特性論について理解し、特徴を述べることができる。 2. パーソナリティの発達について理解できる。 3. パーソナリティを理解するために用いられる心理アセスメント技法について、それらの方法論の特徴と限界について理解できる。 4. 健康なパーソナリティとはどういうことか、考えることができる。 5. 「自分らしさ」「その人らしさ」を理解し、尊重できるようになる。 6. 人間のライフサイクルと発達について説明できる。 7. 健康・不健康の連続性を踏まえて、健康を総合的に捉え説明できる。 8. 多様な価値観や人生観を有している人々を尊重する行動をとることができる。 9. 相手の理解力にあわせた説明をすることができる。 10. 自己を分析し自己理解できる。 11. 心理社会的アセスメントの方法について説明できる。 12. 人的・物理的環境が健康に及ぼす影響について説明できる。 13. 自己の看護の向上に向けて、看護の振り返りや自己洞察の重要性について説明できる。
--

・授業日程

【講義】

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
9/5 (木) 2限	<p>【授業内容】イントロダクション：パーソナリティとは[双方向授業][ICT(Mentimeter, WebClass)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 我々の普段のパーソナリティ理解の仕方をふりかえり、述べることができる。 2. パーソナリティを理解する際に生じる歪みについて、説明できる。 3. 血液型と性格の関連について、科学的知見を述べることができる。 4. 血液型性格判断に作用する認知の錯覚現象について、説明できる。 <p>【関連するSBO】8、10、13</p> <p>【事前学修：50分】血液型と性格の関連について記載されている記事をインターネットで調べる。スタナビの「ビブリアバトル」の箇所を読む。</p> <p>【事後学修：60分】WebClassでの確認テストに取り組み、結果のフィードバックを受ける。講義資料と教科書22～24ページを読み復習する。</p>	心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授

<p>9/12 (木) 2限</p>	<p>【授業内容】人格personalityと性格character、類型論と特性論[双方向授業] [ICT(WebClass)] 1. 人格と性格の定義の違いについて、説明できる。 2. 気質について、説明できる。 3. 類型論の特徴について、説明できる。 4. 特性論の特徴について、説明できる。 5. Big Fiveについて、説明できる。 【関連するSBO】1、5 【事前学修:50分】教科書9～32ページを読む。 【事後学修:60分】WebClassでの確認テストに取り組み、結果のフィードバックを受ける。講義資料を復習する。</p>	<p>心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授</p>
<p>9/19 (木) 2限</p>	<p>【授業内容】パーソナリティの発達(1)、自分らしいプレゼンテーションとは(1)[双方向授業] [ICT(Mentimeter, WebClass)] 1. 精神分析の構造論における自我について、説明できる。 2. 精神分析の発達理論について、説明できる。 3. 乳幼児の認知発達について、説明できる。 4. 与えられた課題について、プレゼンテーション資料を作成することができる。 【関連するSBO】2、8、9 【事前学修:50分】教科書32～39ページを読む。 【事後学修:60分】WebClassでの確認テストに取り組み、結果のフィードバックを受ける。講義資料を復習する。</p>	<p>心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授</p>
<p>9/26 (木) 2限</p>	<p>【授業内容】自分らしいプレゼンテーションとは(2)、パーソナリティの発達(2)[双方向授業、グループワーク] [ICT(Mentimeter, WebClass)] 1. プレゼンテーションに対し、改善点を指摘することができる。 2. 自身のプレゼンテーションに表れる自分らしさについてふりかえり、述べるができる。 3. Erikson, E.H.のライフサイクル論の8つの発達段階と、各発達段階における発達課題と心理社会的危機について、説明できる。 【関連するSBO】2、6、8、9、12 【事前学修:50分】教科書125～141ページを読む。 【事後学修:60分】プレゼンテーションに関するふりかえりワークに取り組み、WebClassでの確認テストに取り組み、結果のフィードバックを受ける。講義資料を復習する。</p>	<p>心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授</p>
<p>10/17 (木) 2限</p>	<p>【授業内容】健康なパーソナリティと、パーソナリティの偏りについて考える[双方向授業] [ICT(Mentimeter, WebClass)] 1. 個人と環境の相互作用のもとで確立するパーソナリティの「健康さ」について、これまでに示されている知見に基づき、要点を述べるができる。 2. パーソナリティの偏りについて、平均基準と価値基準の観点から説明できる。 3. パーソナリティ障害の特徴について、述べるができる。 【関連するSBO】4、7、11 【事前学修:50分】パーソナリティに影響を及ぼすと考えられる出来事や社会状況について、インターネットで調べる。 【事後学修:60分】WebClassでの確認テストに取り組み、結果のフィードバックを受ける。講義資料を復習する。 形成的評価: WebClassによる「理解度チェック」に取り組み、結果のフィードバックを受ける。</p>	<p>心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授</p>
<p>10/24 (木) 2限</p>	<p>【授業内容】ビブリオバトル クラスマッチ[グループワーク、プレゼンテーション] 1. 自分の選んだ本について、その魅力をプレゼンテーションすることができる。 2. その本をより深く理解するための質問をすることができる。 3. 発表、質疑応答、ジャッジに積極的に参加することを通し、今後の自身の発表への改善点を挙げることができる。 【関連するSBO】8、9 【事前学修:80分】My Biblioを選び、期日までにコンテンツシートとシナリオシートを作成し、提出する。スタナビの「ビブリオバトル」の箇所を読む。 【事後学修:70分】今回のプレゼンテーションに関する改善点をふりかえり、WebClassからの小課題に回答する。</p>	<p>心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授</p>
<p>10/31 (木) 2限</p>	<p>【授業内容】子どもの発達と家族のかかわり 1. 子どもの社会性発達を理解し、子どもの発達における愛着の重要性について、述べることができる。 2. 子どもとその家族への関わりが必要であることを理解し、多職種連携での支援の重要性について、説明できる。 【関連するSBO】7、8、12 【事前学修:50分】子どもの社会性発達について調べる。 【事後学修:70分】WebClassでの小課題に取り組み、結果のフィードバックを受ける。</p>	<p>教養教育センター 中島 淳子 非常勤講師 心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授</p>
<p>11/7 (木) 2限</p>	<p>【授業内容】パーソナリティの理解:心理アセスメント【心理検査受検・スコアリング演習】 1. アセスメントにあたって用いられる心理検査について、特に質問紙法の概要を述べることができる。 2. 心理検査への自身の回答をスコアリングし、解釈することができる。 【関連するSBO】3、10、11 【事前学修:50分】教科書41～57ページを読む。 【事後学修:70分】WebClassでの小課題に取り組み、結果のフィードバックを受ける。心理検査によるアセスメントについて、復習する。</p>	<p>心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授</p>

11/14 (木) 2限	<p>【授業内容】ピリオバル ファイナルマッチ[プレゼンテーション]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ピリオバルを行うことで、幅広い書籍情報を共有できる。 2.読みたい作品、ジャンル、作家、テーマ等について明示できる。 3.発表、質疑応答、ジャッジに積極的に参加することを通し、今後の自身の発表への改善点を挙げるができる。 <p>【関連するSBO】8、9 【事前学修:20分】スタナビの「ピリオバル」の箇所を読む。 【事後学修:30分】今後の自身のプレゼンテーションに活かせることをまとめる。</p>	心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授
11/21 (木) 2限	<p>【授業内容】自分らしさ、その人らしさの尊重のために[双方向授業] [ICT(Mentimeter,WebClass)]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.Flankl.V.E.の人格観が確立された経緯を理解し、ポイントを説明できる。 2.自分らしさを大事にしなから相手を尊重するとはどういうことか、自分なりの考えを述べるができる。 <p>【関連するSBO】5、8、12 【事前学修:50分】教科書221～235ページを読む。 【事後学修:480分】ふりかえりワークに取り組む。WebClassでの確認テストに取り組み、結果のフィードバックを受ける。講義資料を復習する。期末課題を作成する。</p>	心理学・行動科学分野 藤澤 美穂 准教授

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	改訂新版 人格心理学	大山泰宏	放送大学教育振興会	2015
参	はじめて学ぶパーソナリティ心理学—個性をめぐる冒険—	小塩真司	ミネルヴァ書房	2010

・成績評価方法

<p>【総括評価】 ふりかえりワーク(4、10回目)と小課題(6、7、8回目)の取り組み内容を30%、期末課題の評価を30%、確認テスト(5回実施)の成績を20%、ピリオバルに関連する取り組みを20%として評価する。ふりかえりワーク・小課題・期末課題への取り組みは、提出(入力)された回答内容を対象とし、評価については初回講義で示す「課題評価基準」に従い採点する。確認テストはMCQ:多肢選択式問題をWebClassから出題する。ピリオバルへの取り組みはコンテンツシート・シナリオシートの内容、クラスマッチでのピア評価の内容および質疑応答への態度を対象とし評価する。</p> <p>【形成的評価】 5回目の講義にてWebClassより「理解度チェック」を実施し、理解度・到達度を確認する。理解度チェックの結果はWebClassからフィードバックする。理解度チェックの結果は成績には反映しない。</p>
--

・特記事項・その他

<p>本科目は、一般的な講義に加えて双方向的な対話を適宜取り入れ進行する。またWebClassによるワークやコメント入力を求める回を設定する。回答については、内容を踏まえ、翌回の講義で解説をおこなう。</p> <p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 WebClassでの確認テストを実施する回を設定する。結果はWebClassにてフィードバックする。講義時間中に、各自のデバイスから参加できるリアルタイムフィードバックツールを用いて他学生の考えを確認、共有する。Mentimeterを使用する予定のため、スマートフォン、タブレット、PCのいずれでも参加可能である。期末課題評価後に講評・解説等をWebClassにておこなう。</p> <p>【その他】 ・一部「医療と法律」「医療と物語」と横断的にピリオバルをおこなう。 ・提出を求める課題内容についてはWebClass上に詳細に提示する。 ・学生からの授業に対する質問・意見については、WebClassメッセージより随時受け付ける。 ・授業内容に関する質問・要望は、翌回の講義にて追加説明をおこなう。 ・ピリオバルについては、コンテンツシート・シナリオシートの提出を求める。ピリオバルではグループでのプレゼンテーションを予定しているが、感染予防対策を徹底し、状況に応じて方法を適宜変更することがある。</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):基礎分野 科学的思考の基盤</p>
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	ノート型PC(MacBook Air MD711J/A)	1	講義資料の提示
講義	DVD(BR)プレーヤー	1	教材の提示
講義	デスクトップPC(iMac (Retina 5K, 27-inch, 2017))	1	講義資料の作成